

411-EZPC26 (3)



この品番は411-EZ(イージー)=簡単配線シリーズのひとつで、ペンダントソケットE26、チェーン付、(3分のニップル仕様)を意味します。

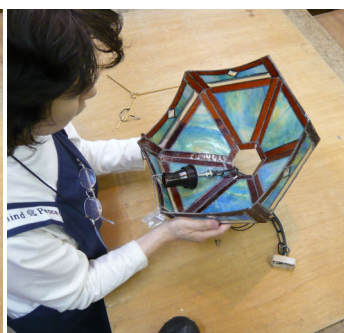
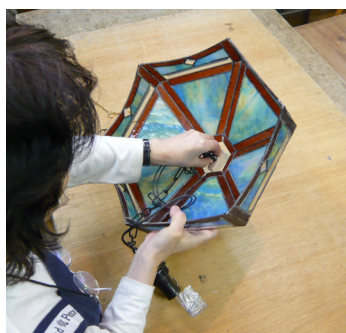


別売りの3W横挿しスパイダー(3029-IS : ¥600-)に差し込み、上下の六角ナットで締めて固定します。

ペンダントの使用例

STEP1

シェード(傘)の穴にチェーンやコード部分を通します。



六角形のシェードです。その部分はφ37.5cm。上の開口部はφ7.5cm。シェードの重量は約1.5kg。

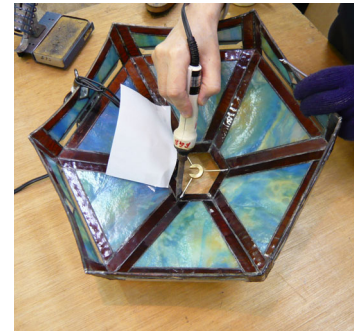
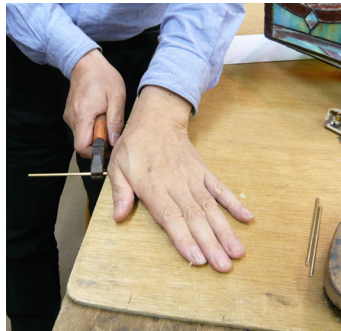
スパイダーをつける開口部分に引っ掛けシーリングのキャップを通します。

次に、チェーンやコードなどを通します。

画像は半分まで通ったところです。これでステップ1が終了。

STEP 2

スパイダーの開口部の向きに注意し、スパイダーを半田付けします。



開口部より一回り程度大きくなるような長さにスパイダーを切断します。半田が熱などで緩んではずれ、シェードが落下するのを防ぐためです。

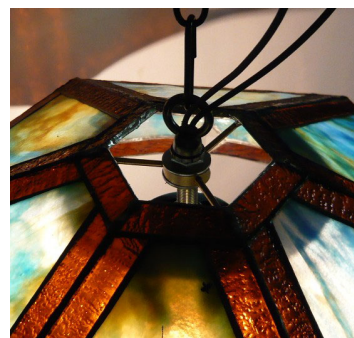
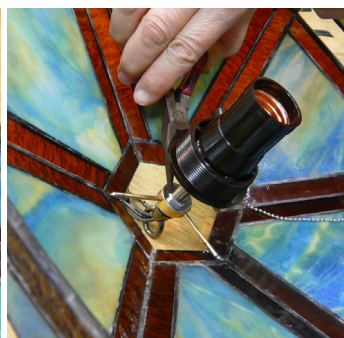
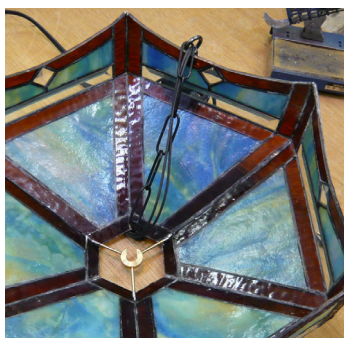
スパイダーの脚はヤスリで半分程度キズをつけてから、ペンチでへし折るようにします。

スパイダーの脚の切断した部分にヤスリをかけ、形を整えとともに、良く磨きます。磨きが足りないと、半田がうまくのりません。

配線部材に半田やコテが触れないように紙で養生し、スパイダーを半田づけします。スパイダーの開口部分が、配線部材側にあることを確認。

STEP 3

スパイダーの開口部分にニップルを差込み、上下の六角ナットを締めます



スパイダーの半田付けが完了した画像。スパイダーの開口部側(U字部分)に配線部材があります。

ひっくり返して、スパイダーに配線部材のニップルを横から差込みます。上下に六角ナットとワッシャーがあることを確かめてください。

内側から六角ナット部分を良く締めます。反対側(上側)の六角ナットも同様に良く締めます。

電球をいれ、上から見たスパイダー部分。



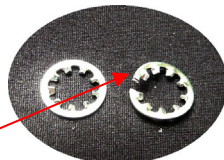
注意点

今回はベース用に制作したシェードを使ったので、上や横から見るととても綺麗ですが、下から見るにはやや浅すぎました。(高さ15.5cm) ペンダントとして、下から見た時に楽しむのであれば、もう少し深いシェードが良いようです。

半田付けのとき熱くなったコテ先や半田がコードの上に触れたりしないよう作業中は布や紙などでしっかり養生をしてください。

スパイダーの上下を六角ナットで締めるときに、ループを回すと配線コードがよじれてしまいますので、六角ナットだけを回してください。

六角ナットの締め付けが上手くいかない場合は、菊ワッシャー(別売り)に切りこみを入れてニップルに差込み六角ナットの締め付けをきつくするような工夫をしてください。あるいは、先にスパイダーへの取り付けを行い、その後、スパイダーを半田する方法もありますので、ご自分が作業しやすい方法を選んでください。



締め付けが緩い場合は切り込みを入れた菊ワッシャーを、六角ナット部分に差込み、緩み止めに・・・

この配線器具は、ペンダントを自作されるホビーの方向きのカンタン配線器具です。これを組み込んでシェードとして販売される場合は、完成品を制作された方がPSE検査と表示を行う必要があります。

この配線器具は1.5kg程度までのシェードにご使用ください。大きく重いシェードには向きません。配線の経験がない方、配線に不安がある方という方には、この配線器具はオススメいたしません。お近くの電気屋さんなどにご相談ください。